

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2021年7-9月期（概要版）〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は282社から回答があった。景況判断DIは▲7(前期調査から11ポイント改善)となり、5期連続の改善となった。来期の見通しは▲13となり、6ポイント悪化する見込みとなっている。景況感は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで回復した。

そして4割以上の会社が、経営上の問題点として「修理、修繕費等の増加」、「従業員の不足」を挙げた。

以下、その他業況感DIの内訳

2021年4-6月期に対して、

- ・売上高DIは7で、20ポイント改善
- ・処理量DIは0で、13ポイント改善
- ・営業利益DIは1で、15ポイント改善
- ・資金繰りDIは3で、4ポイント改善
- ・借入難易度DIは9で、2ポイント改善
- ・設備投資DIは▲2で、4ポイント改善
- ・従業員数DIは0で、3ポイント改善

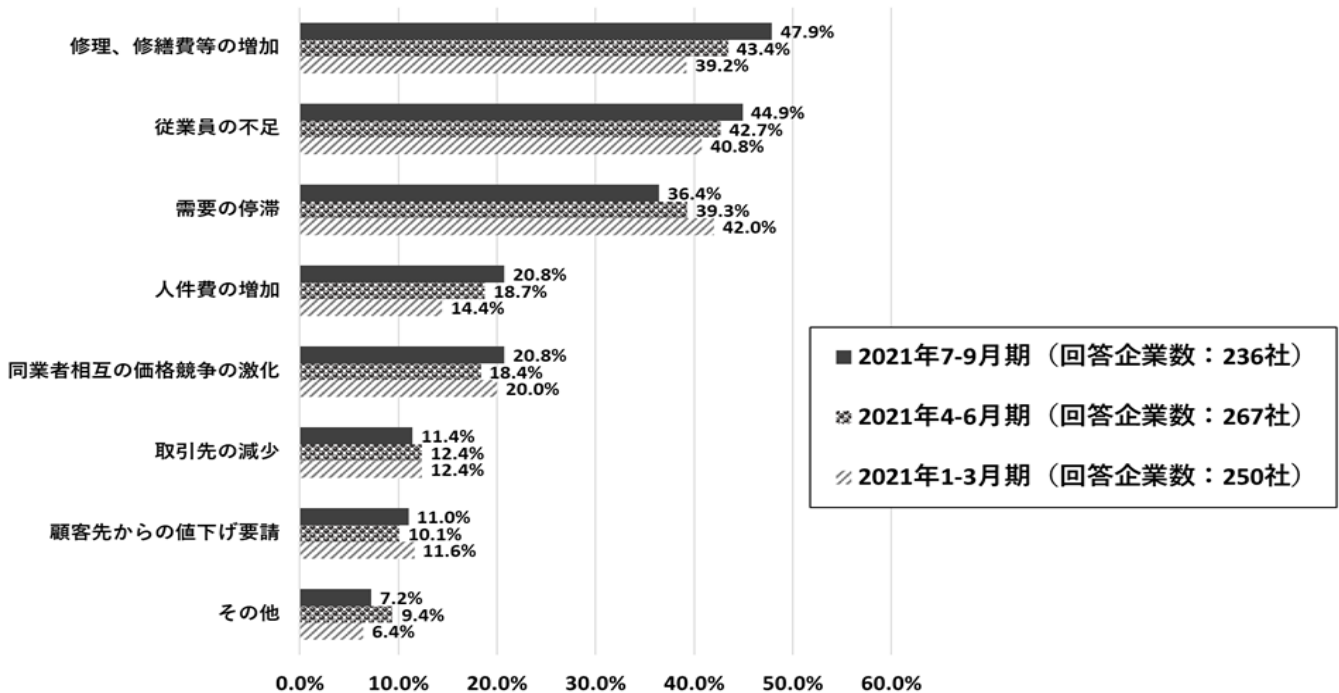
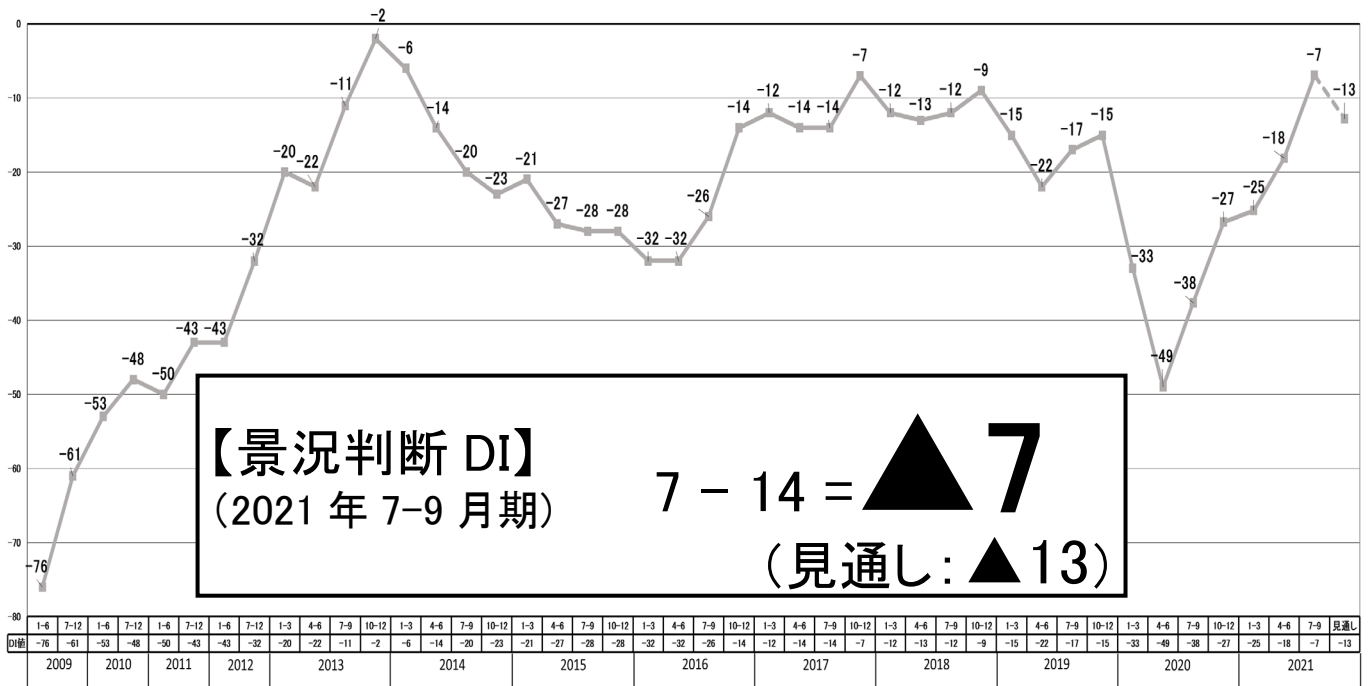
- 売上高の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で7.9%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比(3ヶ月平均)で5.1%増となった。
- 経常利益率については、平均値が7.1%で前期調査(7.1%)と変わらず。

※DIとは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

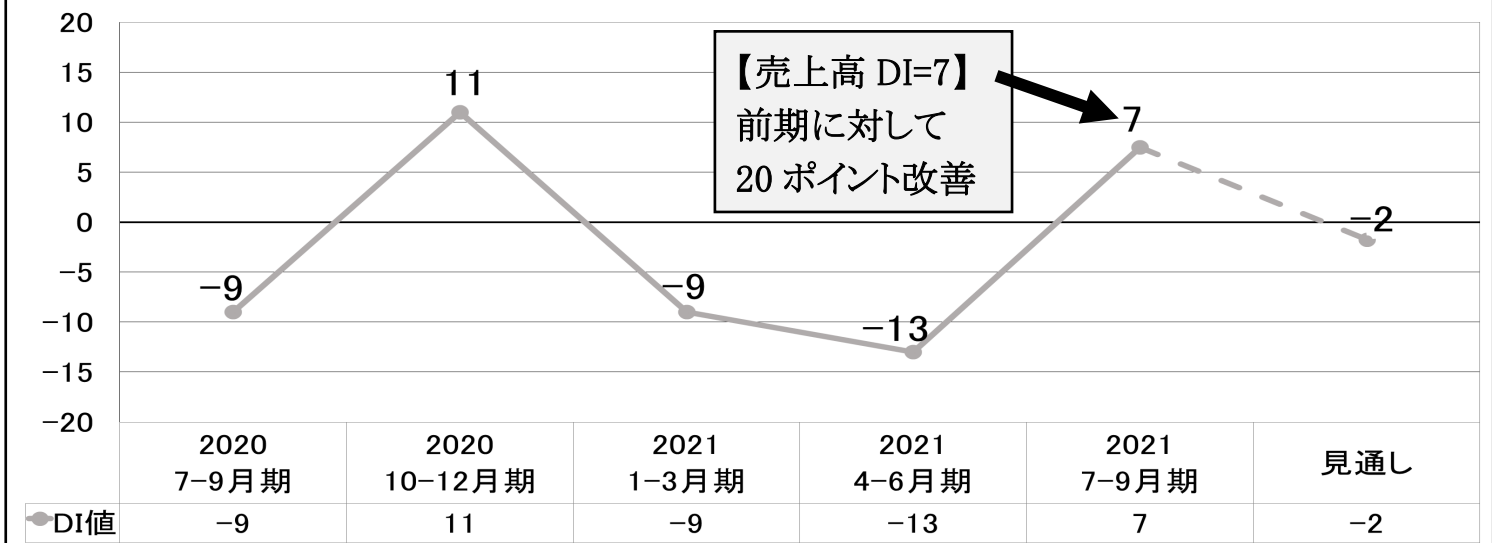
※本調査は、2009年から半期周期の調査として実施していたが、2013年からは四半期周期の調査に変更している。

〔調査の要領〕

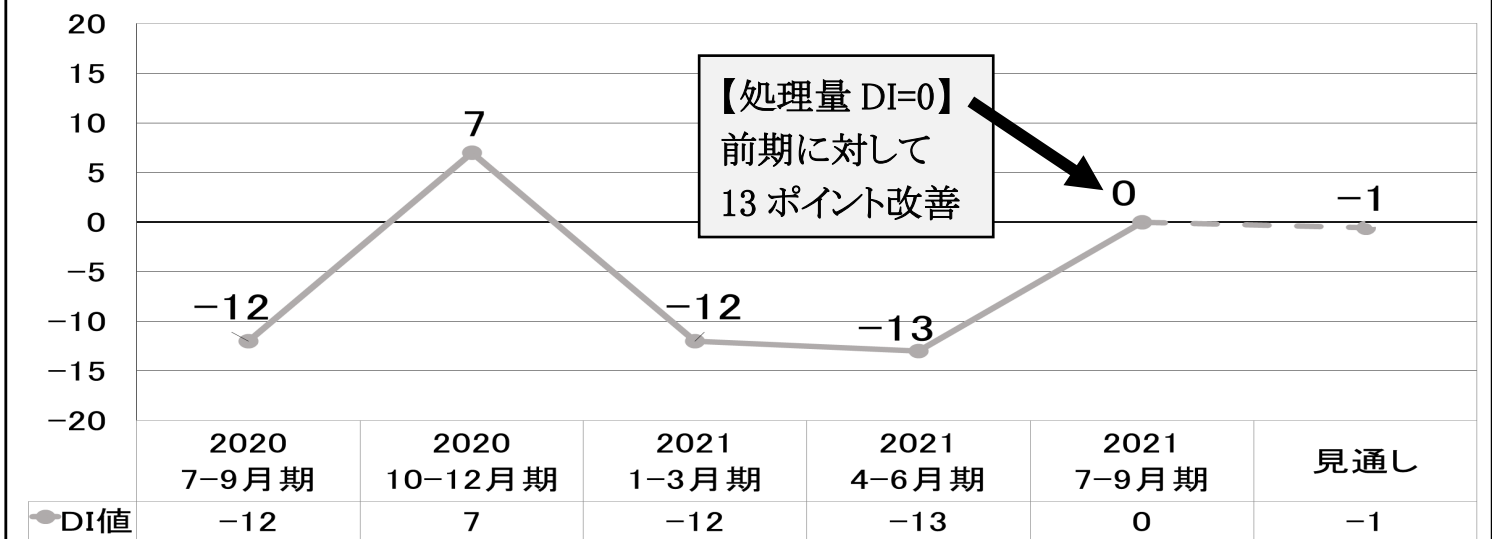
- 全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員
- 調査の方法:郵送によるアンケート
- 調査期間:令和3年10月8日～10月31日
- 回答企業数:282社



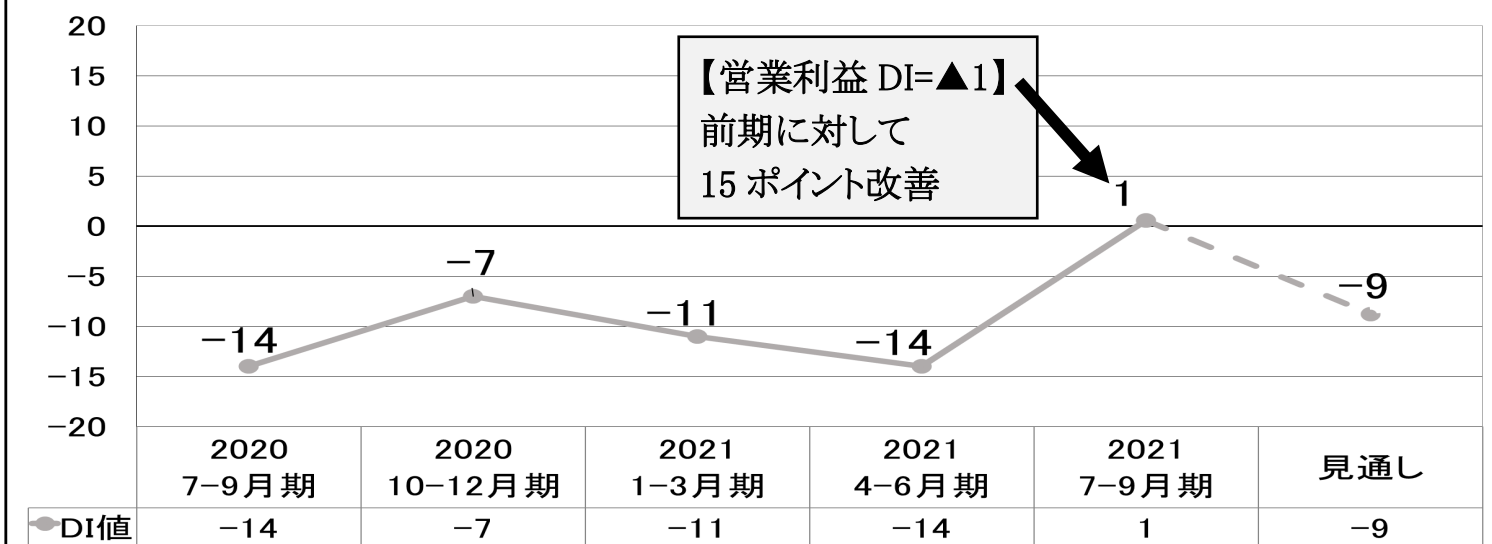
売上高DI (2020年7-9月期～2021年7-9月期と見通し)



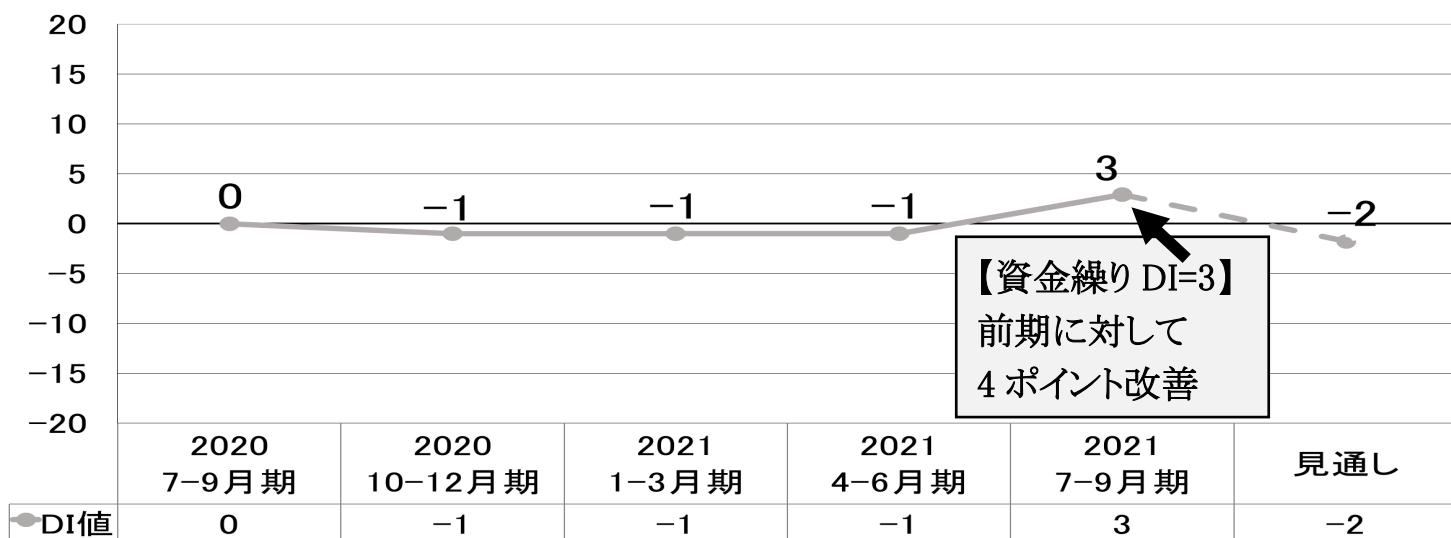
処理量DI (2020年7-9月期～2021年7-9月期と見通し)



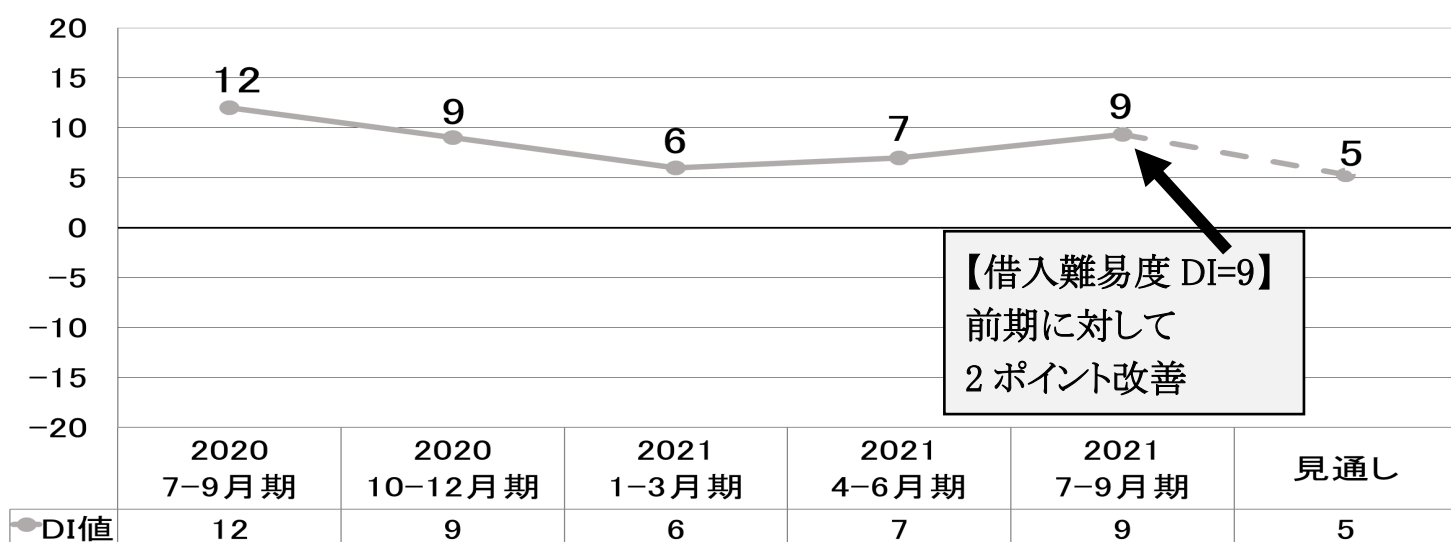
営業利益DI (2020年7-9月期～2021年7-9月期と見通し)



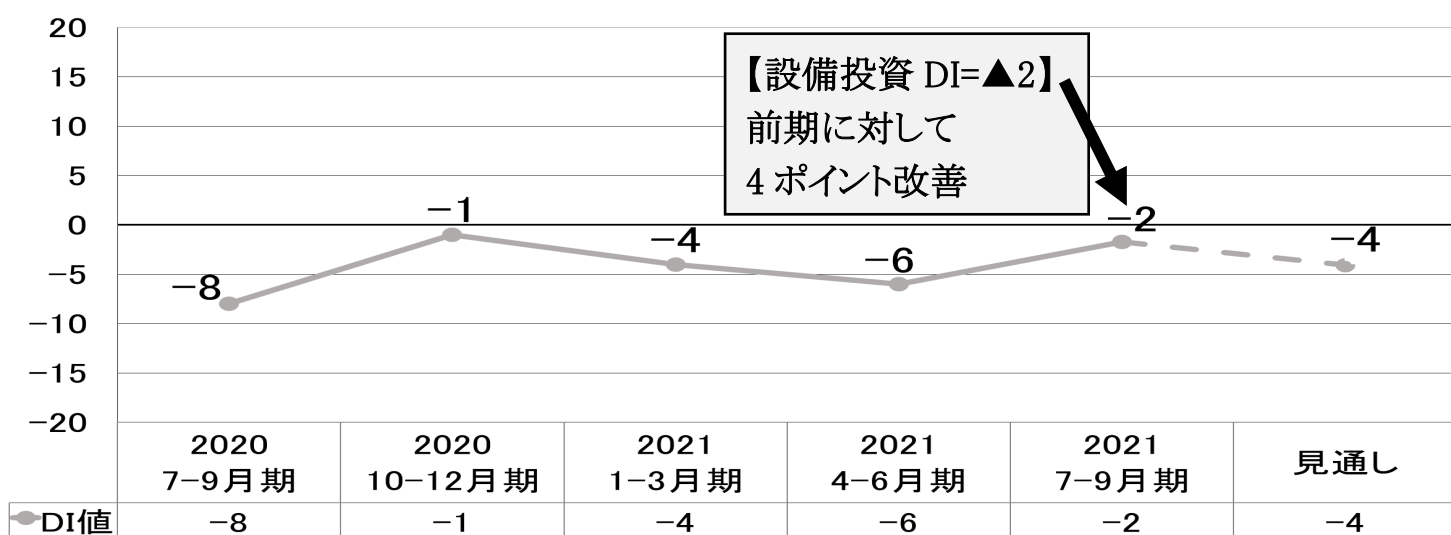
資金繰りDI (2020年7-9月期～2021年7-9月期と見通し)



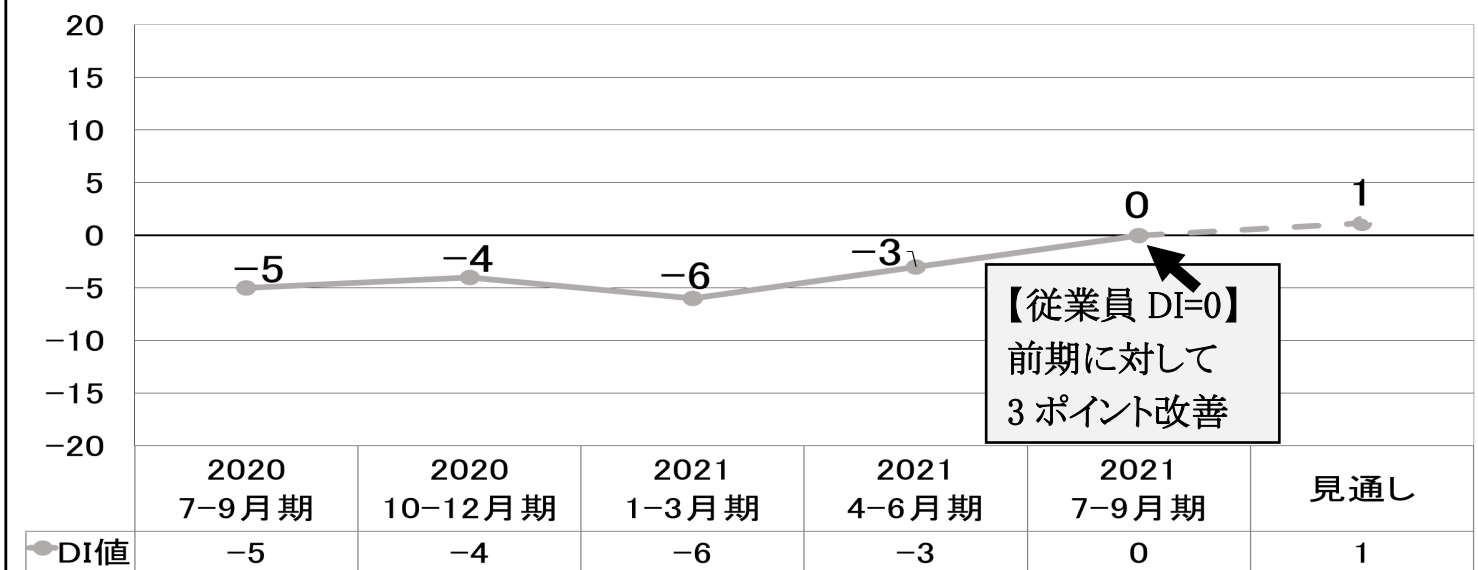
借入難易度DI (2020年7-9月期～2021年7-9月期と見通し)



設備投資DI (2020年7-9月期～2021年7-9月期と見通し)



従業員数DI (2020年7-9月期～2021年7-9月期と見通し)



【売上高、処理量、営業利益、資金繰り、借入難易度、設備投資、従業員数 DI の地域別レーダーチャート】

